次代の病院経営人材を育成

HUHMAプログラム

22年度から樽商大移管

受講生募集、30日に開始

北大保健科学院で2018年度に開講された履修証明プログラム「病院経営アドミニストレーター育成（HUHMA）プログラム」は、22年度から小樽商大ビジネススクール（専門職大学院）が主幹校になり、北大保健科学研究院が協力して継続されることになった。これまでの4年間に道内医療機関に勤務する65人が全科目を修了し、学んだ知識等を生かしてそれぞれの施設などで活躍している。7月開講予定の22年度プログラムの受講生募集は5月30日～6月15日に行う。

同プログラムは、文部科学省の17年度「課題解決型高度医療人材養成プログラム（病院経営支援に関する領域）」採択を受けて、北大保健科学研究院が開始。地域医療を支える病院の「10年後のリーダーを育てる」をコンセプトに、持続可能な病院経営における分析から戦略立案・実践までを担う人材を育成している。主な受講対象は、病院の経営担当者や臨床部門を含むミドルマネジメント層だ。

北大のプログラムは医療政策や経済、マーケティング、会計、情報、戦略等の理論習得やケーススタディなど、全12科目144時間で構成。講師は北大と小樽商大を含む道内外の大学教員、弁護士や公認会計士、道内病院で経営を担当する実務者を招へいした。

講義と演習は夜間・土日に行い、Eラーニングシステムを活用することで、遠隔地や勤務形態が不規則な医療従事者も職場や自宅で受講できる環境を整えた。新型コロナウイルス感染症流行により、20年度からは全ての講義をオンライン形式で行った。

全科目修了者には履修証明書（ディプロマ）を交付し、21年度までの4年間に83人が取得した。「10年後のリーダー」である30～40代が3分の2を占め、修了生の8割近くが医療機関勤務者だった。事務職38人のほか、医師9人、診療放射線技師6人、理学療法士5人や看護師など幅広い職種が集まった。

ディプロマ取得者へのアンケートでは、受講理由として「病院経営の知識を習得したかった」「講義内容を学習する機会が他になかった」が多く、プログラムの満足度は5段階評価で平均4・4点。道内で病院経営を学びたいというニーズに応えたことが高い満足度につながったとみられる。

学習効果の具体例としては「院内プロジェクト遂行に大いに効果があった」「財務分析視点を交えて合理的解決に至ることができるようになった」「学んだ考え方を生かして組織の今後のあり方の検討を開始している」といった意見が挙がった。

修了生同士の横のつながりが構築できたことを評価する意見も多かったが、20年度以降は全てオンライン講義になったためネットワークを形成できなかったことを残念がる声も多く、今後の課題だと指摘している。

遠隔授業が中心

21年度で国による補助期間が終了したことなどを受けて、プログラム構築で連携していた小樽商大ビジネススクールにプログラムを22年度から移管し、「ヘルスケア×マネジメントコース」の一つとして実施することになった。病院経営を学びたい社会人を対象に「10年後のリーダーを育てる」というコンセプトは引き継がれ、講師のほとんどは道内専門家が務める。

受講期間は7月～23年3月、定員は16人。科目は①経営学入門（6時間）②マネジメントの知識と思考法（15時間）③地域医療マネジメント（24時間）④病院経営特論（24時間）⑤地域ヘルスケアシステムプランニング（18時間）―で構成し、総授業時間数は87時間に短縮した。受講費用は計14万5千円。

①と②で小樽商大の講師陣から経営の基礎を学び、③は地域包括ケアシステム等に関する様々な分野の専門家を招いて、レクチャーやグループ討議を行う。北大保健科学研究院が監修・協力する④は、医療制度や病院経営の特性等を理解し、経営環境に応じた戦略立案に資する知識の習得を目指す。

⑤は、小樽商大ビジネススクールと北大プログラムを修了した医師の安田宏氏（社会医療法人柏葉会）、石川康暢氏（愛心メモリアル病院）らを講師に迎え、本道が抱える課題の解決をテーマとした新たな地域ヘルスケアシステムのアイデアを構想し、事業プランとしての練り上げを実習する。

授業は90分×2コマを1モジュールとし、平日夜間や土曜日に行う。リアルタイム遠隔授業を中心に、コロナ状況により対面授業が可能な場合はハイブリッド形式とするほか、科目によってはオンデマンド授業も行う。

小樽商大プログラムの責任者である藤原健祐准教授は「プログラムの受講で全てが解決するわけではないが、病院経営に関する広い視野を身に付けてもらいたい。さらに発展的な学習を望む人は大学院に進む道もある」とPRする。

北大プログラムの責任者を務めた小笠原克彦保健科学研究院教授は「小樽商大とは以前から連携しており、北大のプログラムも小樽商大の協力で実現できた。運営母体は変わるが、北海道に病院経営を学ぶ場所があることが大事。今後も質が担保された教育の場として継続していくためにも、多くの受講生の応募を期待している」と話す。

募集は30日正午から受け付け、6月15日午後5時まで。書類選考を経て同月22日に受講者を決定し、7月8日午後6時30分に中央区の同大札幌サテライトでオリエンテーションを開催予定。問い合わせは同大ビジネススクールのホームページ。